



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月15日
東

上場会社名 株式会社アデランス 上場取引所
コード番号 8170 URL <http://www.aderans.com>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 根本 信男
問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 高橋 道義 (TEL) (03)3350-3268
四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	19,708	4.7	△339	—	315	△13.7	54	△76.9
27年2月期第1四半期	18,825	33.5	524	△50.6	365	△80.0	236	△85.2

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 △1,145百万円(—%) 27年2月期第1四半期 △293百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	1.56	1.31
27年2月期第1四半期	6.43	6.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	70,610	36,413	51.1
27年2月期	72,448	37,142	50.9

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 36,089百万円 27年2月期 36,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	2.0	1,100	△19.8	1,000	△39.5	800	△42.6	22.45
通期	81,000	5.6	3,700	28.4	3,300	△45.0	2,800	△44.8	78.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	37,246,388株	27年2月期	37,246,388株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	2,301,301株	27年2月期	2,301,150株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	34,945,165株	27年2月期1Q	36,807,005株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融政策の効果を背景に緩やかな回復基調となりました。その一方で、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動による、個人消費の減退とその後の回復の遅れは、景気下振れの要因となっております。

このような状況下、当社グループは、「グローバルな成長を目指して」、前連結会計年度をスタートとする中期経営計画を策定し、「国内事業の持続的成長」「海外事業の拡大と成長」「サプライチェーンのグローバル化」「グループガバナンス・CSRの強化」「グローバルな人材の育成・開発」を経営戦略に掲げ、企業価値の向上に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は197億8百万円（前年同期比4.7%増）、アデランス事業、フォンテーヌ事業において消費税増税の反動などにより売上が減少したことや、出店に伴う固定費の負担増などにより販管費が増加したため営業損失3億39百万円（前年同期営業利益5億24百万円）、為替差益の計上等により経常利益は3億15百万円（前年同期比13.7%減）、四半期純利益は54百万円（前年同期比76.9%減）となりました。

また、当社グループの経営指標として重要視しております連結EBITDA(※)は、8億29百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

(※)連結EBITDA=営業利益+減価償却費等+のれん償却額

報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① アデランス（オーダーメイド）事業

男性売上は積極的な広告宣伝展開や新增毛商品「ヘアパーフェクト アクション」の発売、お客様の定着促進の活動などを実施しましたが、施策の効果が限定的となり、前年同期で減収となりました。女性売上は昨年の消費税増税の駆け込み需要による反動を受けて、反響営業ならびに全国主要百貨店における展示試着会での売上が減少したことから減収となりました。その結果、アデランス事業の売上高は69億80百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は人件費などの販管費が増加したことで、12億50百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

② フォンテーヌ（レディメイド）事業

GMSでのショッピングブランド「スワニーbyフォンテーヌ」の新規出店を加速させましたが、百貨店・直営店において、昨年の消費税増税の駆け込み需要による反動ならびに、接客数が減少したことにより、フォンテーヌ事業の売上高については21億55百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は人件費などの販管費が増加したことで、1億22百万円（前年同期比82.3%減）となりました。

③ ボズレー（ヘアトランスプラント）事業

ボズレー事業の売上高は、2014年度に投入したTVCMを継続して行い、問い合わせならびに施術数が増加したことで、売上高31億5百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益1億46百万円（前年同期比78.9%増）となりました。

④ 海外ウィッグ事業

欧米、中国および東南アジアで展開している海外ウィッグ事業の売上高は、特にHC(USA) Inc.が順調に売上を伸ばし、欧州市場では引き続き医療用ウィッグの販売が堅調に推移したことから、売上高68億52百万円（前年同期比22.4%増）となり、営業損失はのれんと無形固定資産などの償却負担があり、4億51百万円の営業損失（前年同期営業損失3億95百万円）となりました。

⑤ その他

美材ルート事業、ECリテール事業や医療事業などのその他の事業区分の売上高は、6億13百万円（前年同期比8.4%減）、営業損失は1億1百万円（前年同期営業損失1億75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券(7億53百万円増)や敷金及び保証金(1億30百万円増)等が増加したものの、現金及び預金(23億26百万円減)や顧客関連資産(3億29百万円減)が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ18億38百万円減少し、706億10百万円となりました。

負債は、流動負債(2億7百万円減)や退職給付に係る負債(8億47百万円減)が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ11億9百万円減少し、341億96百万円となりました。

純資産は、利益剰余金(4億19百万円増)が増加したものの、為替換算調整勘定(12億38百万円減)が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ7億29百万円減少し、364億13百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成27年4月14日公表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が889百万円減少し、利益剰余金が889百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,558	12,232
受取手形及び売掛金	6,952	6,151
商品及び製品	5,068	5,226
仕掛品	297	381
原材料及び貯蔵品	1,198	1,113
繰延税金資産	2,579	2,489
その他	2,469	2,666
貸倒引当金	△286	△288
流動資産合計	32,837	29,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,210	5,173
土地	3,434	3,435
リース資産(純額)	1,690	1,829
その他(純額)	2,535	2,533
有形固定資産合計	12,871	12,972
無形固定資産		
のれん	7,027	7,425
顧客関連資産	7,743	7,449
その他	6,205	6,154
無形固定資産合計	20,977	21,029
投資その他の資産		
投資有価証券	1,344	2,098
繰延税金資産	77	90
退職給付に係る資産	6	6
敷金及び保証金	3,484	3,614
その他	1,362	1,280
貸倒引当金	△513	△453
投資その他の資産合計	5,762	6,637
固定資産合計	39,611	40,638
資産合計	72,448	70,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437	1,411
1年内返済予定の長期借入金	1,232	1,232
未払金	1,908	1,733
未払法人税等	602	192
繰延税金負債	7	5
前受金	2,313	2,448
賞与引当金	1,124	651
商品保証引当金	117	115
返品調整引当金	152	138
その他の引当金	10	15
その他	3,591	4,344
流動負債合計	12,496	12,289
固定負債		
新株予約権付社債	10,045	10,043
長期借入金	2,768	2,460
リース債務	1,308	1,496
繰延税金負債	4,712	4,696
退職給付に係る負債	1,957	1,109
資産除去債務	1,477	1,485
その他	539	616
固定負債合計	22,809	21,907
負債合計	35,306	34,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,944	12,944
資本剰余金	13,157	13,157
利益剰余金	17,378	17,798
自己株式	△4,282	△4,282
株主資本合計	39,198	39,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	60
為替換算調整勘定	△2,164	△3,403
退職給付に係る調整累計額	△206	△185
その他の包括利益累計額合計	△2,327	△3,527
新株予約権	270	321
少数株主持分	1	2
純資産合計	37,142	36,413
負債純資産合計	72,448	70,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	18,825	19,708
売上原価	3,762	4,083
売上総利益	15,062	15,624
販売費及び一般管理費	14,538	15,964
営業利益又は営業損失(△)	524	△339
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	0	1
不動産賃貸料	14	11
為替差益	—	460
その他	42	229
営業外収益合計	60	709
営業外費用		
支払利息	57	12
不動産賃貸費用	4	3
支払手数料	3	—
持分法による投資損失	26	—
為替差損	96	—
その他	31	38
営業外費用合計	219	54
経常利益	365	315
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	2	—
減損損失	—	191
事業再編損失	92	—
店舗閉鎖損失	22	24
その他	0	—
特別損失合計	120	215
税金等調整前四半期純利益	245	99
法人税等	8	45
少数株主損益調整前四半期純利益	236	54
四半期純利益	236	54

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236	54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	17
為替換算調整勘定	△515	△1,235
退職給付に係る調整額	—	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△2
その他の包括利益合計	△529	△1,200
四半期包括利益	△293	△1,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△292	△1,145
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アデランス 事業	フォンテーヌ 事業	ボズレー 事業	海外ウィッグ 事業				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,403	2,573	2,579	5,597	670	18,825	—	18,825
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	0	924	924	△924	—
計	7,403	2,573	2,579	5,597	1,594	19,750	△924	18,825
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,794	695	82	△395	△175	2,000	△1,476	524

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美材ルート事業、医療事業、EC事業等が含まれます。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,476百万円は、セグメント間取引消去66百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,543百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アデランス 事業	フォンテーヌ 事業	ボズレー 事業	海外ウィッグ 事業				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,980	2,155	3,105	6,852	613	19,708	—	19,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1	1,204	1,205	△1,205	—
計	6,980	2,155	3,105	6,853	1,817	20,913	△1,205	19,708
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,250	122	146	△451	△101	967	△1,307	△339

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美材ルート事業、医療事業、EC事業等が含まれます。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,307百万円は、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,266百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外ウィッグ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては191百万円であります。